

会報

公益財団法人 古紙再生促進センター



第47巻第2号

4

2021

- ◆ 令和3年度 事業計画および収支予算
- ◆ 紙リサイクル出前授業の下半期実施結果
- ◆ 全国小中学生“紙リサイクルコンテスト2020”審査結果



目 次

理事会報告

・ 令和 3 年度 事業計画および収支予算	1
-----------------------------	---

活動報告

本部

・ 全国小中学生 “紙リサイクル” コンテスト 2020	7
------------------------------------	---

各地区委員会

・ 紙リサイクル出前授業の下半期実施結果	18
・ 紙リサイクル出前授業の下半期実施結果（センター会員実施）	22

センター日誌	23
--------------	----

（表紙）

全国小中学生 “紙リサイクル” コンテスト 2020

ポスター部門 文部科学大臣賞

佐世保市立日宇中学校 1 年 狩集 百葉

タイトル「変～身 !!」

令和 3 年度 事業計画

当センターは創立来、半世紀弱に亘り、適正かつ効率的な紙リサイクルを促進、循環型社会の形成に貢献、公益の増進に資することを通じ、今日の我が国が世界に誇る紙リサイクルシステムを有するに至る、一翼を担ってまいりました。

しかしながら、人口構造の変化やデジタル化に加えて、未曾有のコロナ禍の影響により紙板紙の需要変化が加速化する一方、世界的にも中国の固体廃棄物輸入禁止や、インドや ASEAN 諸国を中心とする段原紙等の成長加速への対応により、国際的な資源循環の枠組みも変化、我が国の紙リサイクルは大きな転換期の渦中にあります。

当センターとしまして、広く国や自治体、関係業界に情報発信し、我が国の紙リサイクルシステムの維持・向上を目指すとともに、需給両業界のご協力を頂きつつ、変化の時代をチャンスと捉えた事業展開を通じて、この難局に対処してまいります。

事業計画策定の基本スタンス

- 3年後には半世紀の節目を迎えるセンターは、4大事業 ①古紙品質安定対策 ②広報 ③調査研究 ④紙の資源リサイクル安定化対策 を軸に、古紙を取り巻く構造的変化やウイズコロナにおける事業運営の在り方を追求します。
- 紙リサイクルのステークホルダー（一般家庭・自治体・事業者⇒回収業者⇒問屋・輸出業者⇒製紙会社）ループの中で、センターは個々の利害を超えた公益性を有する中立的な立ち位置や、個別企業では実現できない対応が強みであることを認識し、事業を遂行します。
- センターが長年に亘り培ってきた「有形無形のリソース」に横軸を通し、新たな視点からの4大事業を遂行、ステークホルダーの実状や課題も踏まえつつ、センター自身もスピード感のある情報発信や事業展開を心掛けます。
- 「ウイズコロナの社会」や「SDGs」という新たな価値観も加え、従来の単年度事業の他、長期的視野に立った循環経済下での紙リサイクルのあるべき姿についても検討を開始するとともに、センターに対するステークホルダーの認知、理解度を高め、持続的な ①回収・利用の拡大 ②安定供給・確保 ③古紙品質の維持・向上を目指します。
- コロナ禍の収束が見通せない中で、当初の事業計画が滞る可能性もありますが、その場合でも実施可能な新規案件を弾力的に追加検討します。

1. 古紙品質安定対策事業

新たに「個別品質対策」では、基礎的な古紙品質情報を必要とする地方自治体等の環境行政担当者や関係団体のニーズを探り、その啓発ツールの提供を検討します。

(1) 古紙品質調査事業

全国の製紙メーカーの協力の下、古紙開梱組成調査を実施します。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

全国展開した古紙品質情報ネットワークを通じ、製紙工場での品質トラブル情報を他社工場、古紙問屋へ伝達、情報共有化を図ります。

(3) 個別古紙品質対策

4大禁忌品である「昇華転写紙」、「感熱性発泡紙」、「ロウ引き段ボール」、及び「臭いのついた紙」の混入防止等、禁忌品対策を実施します。また、試みとして禁忌品見本帳の作成、行政等への配布を検討します。

2. 広報事業

地方自治体職員や未来の紙リサイクル促進を見据えた、小中学生を対象とした啓発や情報発信に努め、ウイズコロナにおける新たなオンライン形式での事業により、従来カバーできなかった地域での事業拡大を進めます。

また、2019年度に文部科学大臣賞の新規交付を受けた『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図ります。

(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

対面・集合型の紙リサイクル研修会の実施は困難であり、地方自治体等の実状を把握の上、オンラインセミナー形式での実施を検討します。

2) 紙リサイクル出前授業

オンライン形式の授業を積極的に拡大、新たに地方自治体との連携による事業周知も進め、業界シニア人材の活用による必要な講師の育成も図ります。

3) 地域広報活動

コロナ影響を踏まえつつ、各地域にて開催される紙リサイクルイベントへの参加等、紙リサイクルの啓発のための広報活動を実施します。

4) 紙リサイクルセミナー

毎年開催の紙リサイクルセミナーを、10月15日（金）に開催予定。今年もライブ配信、録画配信を実施、ステークホルダーに広く周知してまいります。

5) 啓発資料等の配布

センター会報のリニューアルに向けて検討します。また新たにSDGsへの取組についても啓発を開始します。“古紙ハンドブック2021”の発行に加えて、地方自治体担当者を対象としたハンドブック作成も検討してまいります。

6) 紙リサイクルコンテスト

13回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2021」を通じ、作文・ポスターの優秀作品を選定・表彰、応募点数の増加等内容の充実に努めます。

7) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保の啓発

未利用古紙の掘り起こしや古紙品質維持改善のため、一般家庭での古紙排出の在り方の啓発や、新たに全国の会員を対象とする、各界専門家による定期的なオンラインセミナーを開催します。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

紙リサイクル推進に貢献されてきた集団回収実施団体に対する顕彰は、コロナ影響を踏まえた対応に努めます。

2) グリーンマーク

古紙利用製品の認識向上及び利用拡大を図るため、グリーンマークの普及に努めます。

3. 調査研究事業

国内では、コロナ禍に伴う古紙発生構造の変化や、各地方自治体におけるリサイクル変化等につき調査を行い、海外では中国、東南アジアとの交流や調査事業について見直しを含め、ウィズコロナにおける在り方を検討します。

(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

自治体への啓発資料として、オフィスや事業所のリサイクル状況へのコロナ影響を把握し、情報提供します。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

全市区町村（約1,700）に対し、コロナ禍による紙リサイクル変化等について調査、新たに行政の立場への意見具申等を検討します。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材を注視していきます。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

ウィズコロナにおける、ステークホルダーの実状や課題を調査し、未利用古紙の回収ネットワーク構築を目指します。

5) 外部委員会

経済産業省によるインドでの紙リサイクルシステム構築支援事業への参画や、紙製容器、牛乳容器関連協議会への情報提供を行います。

(2) 海外市場調査

従来の日中古紙セミナーは、中国の固体廃棄物輸入規制による輸出の構造的変化に伴い開催は見送ります。今後は古紙輸入規制後の状況等についての情報交換に焦点を絞る一方、ポスト中国としてベトナムを始めとした東南アジア諸国との情報交流について検討を開始します。

(3) 統計調査

国内外における古紙需給統計等を収集し取りまとめを行い公表します。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

古紙回収量が国内消費量を上回る我が国において、安定的な需給バランスをベースとした持続的な回収システムの維持は社会的にも大きな課題です。国内では少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化が進み、また世界的にはサーキュラーエコノミーを始めとした循環経済推進のうねりが高まる中、国内・外の中長期的な課題整理に向けて検討します。

(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

紙リサイクルシステム維持のため、余剰が生じた場合の対策を講じます。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

日本の紙リサイクル安定化のため、インドや ASEAN 諸国の紙リサイクルの実態把握に努めるとともに、環境規制情報や日本古紙への品質ニーズ等について調査します。

2) リサイクル方法の調査研究

古紙の製紙原料以外の用途に関する調査を実施します。

3) 紙リサイクルの維持

中長的、持続的な紙リサイクルの維持に向けて課題の整理を開始します。

5. その他の事業（地区委員会活動事業）

全国8地域の委員会において、各地域の独自性を考慮し、またコロナ影響も踏まえて研修会等の事業を実施します。

収支予算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	3,000	△ 2,000
基本財産受取利息	1,000	3,000	△ 2,000
特定資産運用益	48,000	238,000	△ 190,000
運用財産受取利息	48,000	238,000	△ 190,000
受取会費	223,700,000	232,480,000	△ 8,780,000
賛助会員受取会費	223,700,000	232,480,000	△ 8,780,000
事業収益	136,300,000	136,300,000	0
紙の資源リサイクル安定化対策事業収入	136,300,000	136,300,000	0
受取寄付金	600,000	746,000	△ 146,000
受取寄付金	600,000	746,000	△ 146,000
雑収益	300,000	600,000	△ 300,000
雑収入	300,000	600,000	△ 300,000
経常収益計	360,949,000	370,367,000	△ 9,418,000
(2) 経常費用			
事業費	333,479,000	343,377,000	△ 9,898,000
役員報酬	23,417,000	23,419,000	△ 2,000
給料手当	50,321,000	52,605,000	△ 2,284,000
福利厚生費	10,188,000	9,908,000	280,000
役員退職慰労費用	2,396,000	2,396,000	0
退職給付費用	1,414,000	1,292,000	122,000
古紙購入代金	136,300,000	136,300,000	0
会場費	1,517,000	1,827,000	△ 310,000
資料作成費	3,375,000	3,845,000	△ 470,000
啓発活動費	3,956,000	3,856,000	100,000
広告料	60,000	160,000	△ 100,000
システム費	800,000	823,000	△ 23,000
委託費	36,291,000	33,829,000	2,462,000
会議費	740,000	2,785,000	△ 2,045,000
旅費交通費	7,629,000	16,992,000	△ 9,363,000
通信運搬費	4,690,000	4,328,000	362,000
減価償却費	2,657,000	2,136,000	521,000
消耗品費	3,680,000	3,464,000	216,000
印刷製本費	5,855,000	4,984,000	871,000
新聞図書費	2,496,000	2,431,000	65,000
水道光熱費	1,055,000	1,054,000	1,000
賃借料	25,628,000	25,958,000	△ 330,000
諸会費	424,000	344,000	80,000
諸謝金	750,000	470,000	280,000
租税公課	2,000	5,000	△ 3,000

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
支 払 手 数 料	12,000	12,000	0
雑 費	36,000	364,000	△ 328,000
地 区 事 業 費	7,790,000	7,790,000	0
管 理 費	32,660,000	34,734,000	△ 2,074,000
役 員 報 酬	2,036,000	2,036,000	0
給 料 手 当	4,523,000	4,887,000	△ 364,000
福 利 厚 生 費	1,060,000	1,091,000	△ 31,000
役 員 退 職 慰 労 費 用	208,000	208,000	0
退 職 給 付 費 用	194,000	190,000	4,000
会 場 費	93,000	133,000	△ 40,000
広 告 料	100,000	100,000	0
シ ス テ ム 費	1,706,000	818,000	888,000
委 託 費	4,384,000	4,384,000	0
会 議 費	5,753,000	6,392,000	△ 639,000
旅 費 交 通 費	2,453,000	4,736,000	△ 2,283,000
通 信 運 搬 費	196,000	198,000	△ 2,000
減 価 償 却 費	101,000	49,000	52,000
消 耗 品 費	152,000	195,000	△ 43,000
印 刷 製 本 費	12,000	11,000	1,000
新 聞 図 書 費	23,000	19,000	4,000
水 道 光 熱 費	107,000	108,000	△ 1,000
賃 借 料	2,576,000	2,596,000	△ 20,000
諸 会 費	1,283,000	1,283,000	0
諸 謝 金	4,956,000	4,476,000	480,000
租 税 公 課	12,000	12,000	0
支 払 手 数 料	428,000	508,000	△ 80,000
雑 費	304,000	304,000	0
経 常 費 用 計	366,139,000	378,111,000	△ 11,972,000
当 期 経 常 増 減 額	△ 5,190,000	△ 7,744,000	2,554,000
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 5,190,000	△ 7,744,000	2,554,000
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	2,467,534,000	2,438,671,000	28,863,000
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	2,462,344,000	2,430,927,000	31,417,000
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	2,462,344,000	2,430,927,000	31,417,000

全国小中学生“紙リサイクル” コンテスト 2020 審査結果

「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト」は、全国の小中学生から紙リサイクルに関する活動やアイデアをテーマとした作文・ポスターを募集し、優秀な作品の作成者を表彰するもので、平成21年度から実施し、今回で12回目の開催となりました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、締め切りを12月11日に変更するなどの対応を行い、結果として応募点数は過去最高の2,899点（応募校：208校）となりました。また、今年度から長期継続して応募のある学校を表彰する『学校特別賞』を新設し、小学校・中学校各1校を表彰しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら今年度の表彰式は中止とし、東京都の小・中学校で訪問の許可が頂けた場合に限り、センター関係者が学校に直接訪問して入賞した生徒に表彰を行いました。右の写真は今年度の文部科学大臣賞（作文部門）を受賞した東京創価小学校4年の美越凜子さんに古紙再生促進センター代表理事の長谷川より表彰状を授与している場面です。授賞式は全校朝礼の時間に行われ、終始和やかなムードの中で受賞者の笑顔が輝いていました。



文部科学大臣賞（作文部門） 表彰状授与の様子

今年度の紙リサイクルコンテストの入賞者は25名、学校特別賞・奨励賞は3校となりました。独創的な紙リサイクルに関する活動や紙リサイクルを推進するアイデアを作品にした入賞者と作文・ポスター各部門の優秀作品の一部を紹介します。

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020 入賞者一覧

応募総数：2,899点（応募校数：208校）

【文部科学大臣賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文部門	東京都	東京創価小学校	4	美越 凜子	古紙は宝物
ポスター部門	長崎県	佐世保市立日宇中学校	1	狩集 百葉	変～身！！

【金賞】

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	東京都	東京創価小学校	4	阿部田 優子	うちには大切な資源がいっぱい
	中学生部門	宮城県	気仙沼市立松岩中学校	3	佐藤 優香	広げよう「リサイクルの輪」
ポスター	小学生部門	東京都	杉並区立浜田山小学校	4	石川 連也	もう一度 かがやける リサイクルステージへ
	中学生部門	東京都	十文字中学校	1	木村 柚香	古紙から美しい未来へ

【特別金賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	福岡県	明治学園小学校	1	能美 にな	かみリサイクル二つのもんだい (作文)
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	福岡県	北九州市立篠崎中学校	3	田島 純怜	リサイクルの輪から地域の輪へ (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	山口県	岩国市立周東中学校	1	村岡 愛梨	リサイクルできる「古紙」 (ポスター)

【銀賞】

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	千葉県	富里市立富里南小学校	2	中田 葵	わが家の紙リサイクル
	中学生部門	宮城県	気仙沼市立松岩中学校	1	佐藤 里桜	家の中には宝がいっぱい
ポスター	小学生部門	愛知県	名古屋市立大清水小学校	4	加藤 航生	生命をつなぐリサイクル
	中学生部門	神奈川県	横浜市立港南台第一中学校	2	野澤 冬晴	江戸に見習う

【佳作】

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	千葉県	佐倉市立西志津小学校	1	斎藤 すばる	わたしの工夫したリサイクルばこ
		三重県	桑名市立多度東小学校	5	鈴木 真子	リサイクルを進めるために
		静岡県	磐田市立磐田西小学校	4	佐藤 迪洋	おかしな箱から考えた、 紙リサイクル
	中学生部門	神奈川県	横浜市立あざみ野中学校	1	河井 咲良	紙生
		栃木県	栃木県立宇都宮東高等学校 附属中学校	2	久保 楓子	私達にできること
		広島県	広島三育学院中学校	3	徳江 陽介	日常
ポスター	小学生部門	大阪府	島本町立第二小学校	3	若山 怜穂	大切なしげん 正しくえらんでリサイクル
		神奈川県	横浜市立瀬ヶ崎小学校	4	渡部 花菜	生まれかわる旅へ
		東京都	アトリエ IT	6	千賀 煌大	紙リサイクル しよう
	中学生部門	山口県	岩国市立周東中学校	1	山下 匠翔	古紙はごみ？ じゃなくて、貴重な資源だ！！
		宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校 附属中学校	1	鮫島 まみ	資源には限りがあるからリサイクル
		鹿児島県	始良市立帖佐中学校	2	国師 菜月	リサイクルは続くよどこまでも

【学校特別賞受賞校】

部門	都道府県	学校名	継続応募年数
小学校部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	8 年
中学校部門	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	10 年

【学校奨励賞受賞校】

部門	都道府県	学校名	応募点数
小学校部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	137 点
中学校部門	富山県	富山市立堀川中学校	292 点

文部科学大臣賞 作文部門

私の家では、リサイクルを大切にしています。特に、紙リサイクルに力を入れています。そのきっかけになった出来事がありました。

学校から帰ると、道路わきに、朝出しておいたピザの空き箱がそのまま置いてありました。「出しておいたのに、回収されなかったのかな。」と思い近づいてみると、一枚の紙が貼られていました。そこに書かれていたのは「汚れているので、回収できません。」というメッセージでした。

そこで、私はお母さんと一緒に「紙リサイクル」について調べました。市から配られる古紙の出し方の冊子を見て、汚れているものは紙リサイクルできないことがわかりました。読み進めていて驚いたことは、紙リサイクルできる古紙の種類がたくさんあったことでした。それまでは、段ボール、雑誌などが中心でした。でも、チラシ、封筒、おかしな空き箱など細かい物も雑誌がみとして紙リサイクルできるので。今まで紙リサイクルしなかった古紙がどれだけあったらうともったいない気持ちになりました。宝物をむだにしていたのです。

いろいろな古紙がリサイクルできるということはわかったのですが「分別

をしないと意味がありません。それぞれ生まれ変わる紙製品の形がちがっているの、分別をしないと工場に働いている人たちに負担がかかってしまいます。そこで、資源として出す前に、家族一人一人が自分で分別できなくては行けないと考えました。どうすれば分かりやすく分別できるかなやんでいた時にヒントになったのがおばあちゃんの家工夫です。おばあちゃんは、段ボール、雑誌、雑誌がみ、新聞紙、牛乳パックの入れる箱を分けてラベルをはっていました。誰が見てもどこに置けばよいか一目でわかります。その工夫を取り入れて、パントリーにそれぞれの置き場を作りました。それから、家族全員が小さな古紙でも分別できるようになりました。今では、回収日に古紙がなくなると、スッキリして嬉しい気持ちになります。

古紙の出し方を失敗して、紙リサイクルについて調べたことが、家族の古紙に対する気持ちを変えました。知らなければ行動にうつせなかったと思います。古紙という宝物をむだにせず、新しく生まれ変わらせるのは、私たちにかかっています。私は、家で取り組んでいる古紙の分別の工夫をいろいろな人たちに伝えていきたいです。

『古紙は宝物』

東京創価小学校 4年 美越 凜子

文部科学大臣賞 ポスター部門



『変～身！！』

佐世保市立日宇中学校1年 狩集 百葉

金賞 作文小学生部門

今年は新型コロナウイルスの流行で生活が大きく変わりました。わたしの家でも、わたしとお兄ちゃん、お姉ちゃんはしばらく学校に行けなくなり、お父さんも、家の中で仕事をするのがふえました。

家族の生活が変化する中で、「紙のリサイクル」を考えなくてはならない出来事が、大きく二つありました。それは、「たぐいはびんがふえたこと」「コピー用紙をたくさん使うようになったこと」です。

まず、たぐいはびんです。あまり買い物に出かけなくなり、文ぼう具、洋服、家電、そして食料まで、いろんなものをインターネットで注文して届けてもらうことが、すごく多くなりました。それで、毎日のようにダンボール箱が届くようになりました。

ダンボール自体は、わたしはすごくべんりだと思います。波のようにうねった再生紙が厚紙にはさまれ、とても丈夫で軽くて、図工の工作にも使えます。わたしたち家族が住む市ではリサイクルに力を入れていて、ダンボールもちゃんと回収日が決められているので、わたしの家では大量に出してしまうダンボールが少しでも再生されるよう、なるべくきれいなままでたたんでほかんしました。

もう一つ、コピー用紙も、ダンボールと同じく、大切な資源であり、ボー

ル紙やダンボールに生まれ変わると学習しました。わたしの家では、お母さんに教わりながら、ダンボールと同じようにちゃんと整理して、決められた日に回収してもらっています。

それにしても、わたしの家だけでもこのような変化があったのに、これが市全体や、東京全体で見たら、いったいどれくらい紙の使用量がふえたのか、わたしは少し心配になりました。

リサイクルの量がふえすぎると、業者の人でも大変ではないか、また、処理工場も止まってしまうのではないかと考えてしまうのです。それにかかわっている人たちにありがとうと言いたいです。

あとは、リサイクル自体が面どうになる人がふえないように、市や町会などで、住民によびかけていけばいいのではないのでしょうか。市からはお父さんやお母さんのスマホに、ぼうさいや事けん・事故のお知らせが届くようになっていますが、それと同じくらい大切なリサイクルについても、回収日や手順などをもっとこまめにお知らせしていく仕組みがあった方がいいと思います。

そして一番大切なのは、わたしたちがもっと勉強して、大人たちや社会によびかけられるように成長していくことだと思います。

『うちには大切な資源がいっぱい』

東京創価小学校4年 阿部田 優子

金賞 作文中学生部門

私の家では環境問題に関心のある妹が中心となって、「紙資源」のリサイクル活動を行っています。新聞紙やダンボール、雑誌、雑紙などを分けて保管し、ある程度の量になったら資源の収集所に持って行きます。私はリサイクルについてよくわからなかったのですが、妹と一緒に市の広報誌でリサイクルの仕組みについて調べ、関心を持つようになりました。捨てられたらごみになってしまう紙資源が、①捨てない、②分ける、③出す、④使う、ことを通して、貴重な資源となっていくことは素晴らしいことだと思います。この活動をもっと多くの人に知ってもらい、より多くの人に一緒に活動してもらいたいと考えた私は、父にお願いしてみました。「お父さんの職場でもやってみたらいいんじゃない？」と…。父は「いいよ」と即答してくれました。そして私と父は職場でのリサイクルの方法や声かけについて相談しました。

父の職場では印刷機やコピー機があり、毎日ものすごい量の紙が使われているそうです。情報管理にはとても厳しく、個人情報などが載っている紙はシュレッダーにかけたりしているそうです。父は職場の管理職の方や同僚の人たちに声を掛け、個人情報がもれるおそれのない書類や、お菓子などが入っていた空き箱については、用意したリサイクルボックスに入れるように

お願いしました。

一週間後のことです。帰宅した父は荷物を降ろすこともせず、「優香、たった一週間でこんな大きな紙の束が四つもできたよ。」と、大きな手振りでリサイクルの成果を話してくれました。職場の多くの人が協力してくれ、なんと二五キロぐらいの紙を資源として回収できたそうです。また、すぐそばのゴミ箱に紙類を入れるのではなく、用意したリサイクルボックスに持ち寄ることで燃えるごみの量が減ったことも教えてくれました。父も私も本当にびっくりすると同時に、とても嬉しくなりました。ゴミ箱に捨ててしまえば燃えるごみになってしまうはずだったものが、多くの人の意識の変化と少しの手間をかけることで資源となる。そして、そのきっかけが私の一言だったなんて…。なんだか、とてもやる気が出て、もっとこの運動を広げたいと強く思いました。

今、私は自分の通う学校でもリサイクル活動ができないかを考えています。父や妹、姉、母とも相談し、どうすれば学校の先生や友人の協力がもらえるかを考えています。まずは、関心を持ってもらうこと。そして、一緒に活動してくれる人を少しずつ増やしていきたいと思います。そして、皆でリサイクル活動に取り組み、「活動の輪」をどんどん広げていきたいと思っています。

『広げよう「リサイクルの輪」』

気仙沼市立松岩中学校3年 佐藤 優香

金賞 ポスター小学生部門



『もう一度かがやける リサイクルステージへ』

杉並区立浜田山小学校 4年 石川 連也

金賞 ポスター中学生部門



『古紙から美しい未来へ』
東京都十文字中学校1年 木村 柚香

全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞

なつやすみに、リサイクルについてしらべました。リサイクルできるものは、ごみではなく、「しげん」とよびます。つかったあとのしげんは、かいしゅうされ、リサイクルされて、うまれかわるのです。しらべてみると、ふしぎなことがわかりました。しげんのなかで、かみのリサイクルされるわりあいだけがとてもひくかったのです。なぜ、このようなけっかになったのか、かんがえてみると、ふたつのことにきがつきました。

ひとつめは、かみせんようのかいしゅうぶくろがないことです。ほかのしげんでは「かん・びん」「ペットボトル」とかいた、せんようのかいしゅうぶくろがあります。でも、わたしのまちでは、かみのしげんは、ひもでしばるか、かみぶくろにいれることになっています。おかあさんといっしょに、じっさいにまとめてみると、かみはおおきさがばらばらで、ふくろからとびだしてきたり、ふくろがやぶれてしまったりしました。それに、おおきなかみに、ひとりでひもをかけるのはとてもたいへんでした。ひとりぐらしのおとしよりや、こしのわるいひとにはむずかしいのかもしれない。もし、きめられた、つよいかみぶくろがあれば、もっとかみリサイクルがしやすくなるのではないかなとおもいました。

ふたつめにちゅうもくしたのは、か

みのしゅるいです。かみのなかでも、ダンボールはほとんどがリサイクルされていることがわかりました。じつは、かみにはリサイクルできるものと、できないものがあるのです。たとえば、しんぶんしやぎっし、コピーようしはリサイクルできます。でも、レシートやティッシュ、かみコップなどはリサイクルできないかみなのです。これをただしくしっていないと、かみリサイクルはすすみません。ダンボールは、だれがみてもわかりやすいので、かいしゅうりつがたかいのではないかなとおもいます。もっと、リサイクルできるかみのしゅるいを、きちんとみんながわかるしくみがひつようだなとおもいました。

かみリサイクルのためにわたしができることはなんでしょうか。まずは、まわりのひとに、リサイクルできるかみとできないかみがあることをしてもらうことです。がっこうのともだちや、しんせきにもおしえてあげようとおもいます。そして、たくさんべんきょうをして、かみリサイクルのためのかいしゅうぶくろをつくりたいです。もちろん、ふくろはやぶれにくくてつよいかみを、リサイクルされたかみをつかってつくれたら、さいこうだなとおもいます。かみリサイクルなかまをもっとふやして、じつげんできるように、がんばりたいとおもいます。

『かみリサイクル二つのもんだい』

明治学園小学校1年 能美 にな

日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞

私は、古紙回収に対する意識の低い人が多いと感じている。マンションのごみ集積場を見ると紙類のごみがたくさん捨てられている。きっと古紙回収に対する意識が低いのだろう。私はどうしたらみんなの意識を変えることができるのかを考えてみた。

私の住む北九州市では、スーパーの入口に古紙回収ステーションが設置されており、持ち込んだ古紙の重さに応じたポイントが付加されるようになっている。そして、そのポイントを使用してスーパーで買い物をすることができ、ポイントが付くため、大人も子供も楽しんで回収することができると思う。こうすることで、家の紙類のゴミが減り市指定有料ごみ袋も節約することができ、家計も助かると思うが、残念ながらあまり利用されていないのが現状である。

自治体の古紙回収は曜日が指定されているため、回収頻度も少ない。スーパーの古紙回収ステーションはいつでも買い物のついでに持ってくることもできるため、利用しやすいのではないと思う。古紙回収ステーションが設

置されているスーパーはまだまだ少ない。もっと数を増やし、そして、この古紙回収ステーションのことをもっとテレビやインターネット、タウン誌などで宣伝していくべきではないかと考える。

また、北九州市は地域の祭りが毎年多く開催されている。その祭りのイベントの一つとして古紙回収をすれば、多くの古紙が集まるのではないかと思う。古紙と引き換えに地域の商店で使える商品券や割引券を渡すようにすれば商店で買い物をする人が増え、地域の活性化にもつながり、お互いにとってプラスになるのだ。古紙に付加価値を与えることにより、古紙リサイクルに対する意識の低さを改善することができると思う。

最近、自然災害がたくさん起こっている。災害時に必要なのは、地域の人と協力し合うことだと思う。普段から古紙回収イベントなどで地域の輪が広がっていれば、どんな辛い災害も乗り越えられる。私は今後、古紙リサイクルのイベントが増えることによりリサイクルの輪、地域の輪が広がることを期待している。

『リサイクルの輪から地域の輪へ』

北九州市立篠崎中学校3年 田島 純怜



『リサイクルできる「古紙」』
岩国市立周東中学校1年 村岡 愛梨

紙リサイクル出前授業の下半期実施結果

センターでは紙リサイクルに関する理解を深め、紙リサイクルの維持・発展に資することを目的とした「紙リサイクル出前授業」を実施しています。小学生を主な対象としていますが、中学校、自治体等からも依頼があり、対象者に合わせて紙リサイクルの重要性を講義しています。新型コロナウイルス感染症の影響で対面での出前授業の機会は減少したものの、学校からの依頼や自治体との連携を通じて、一部でオンラインによる出前授業も実施しました。

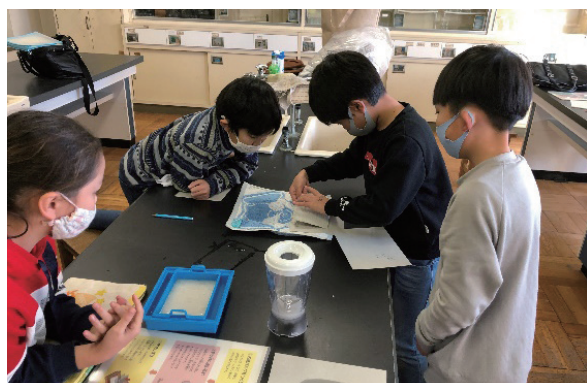
<関東地区委員会>

関東地区は新潟分会での実施も併せて、2件の出前授業を実施しました。

実施日	実施校等	クラス等	講師
令和2年 12月15日	南足柄市立 岡本小学校	4年生 (2クラス)	(株)タンザワ、(株)二見、 (公財)古紙再生促進センター
令和3年 1月19日	加茂市立 加茂小学校	4年生 (2クラス)	(株)西國商店

【実施校からの感想】

- ・自作のプレゼンテーションやパルプの実物標本、○×クイズとバラエティーに富んだ内容で、子供たちはとても興味をもって受講していました。



<静岡地区委員会>

静岡地区は県内の小中学校 9 件で実施しました。

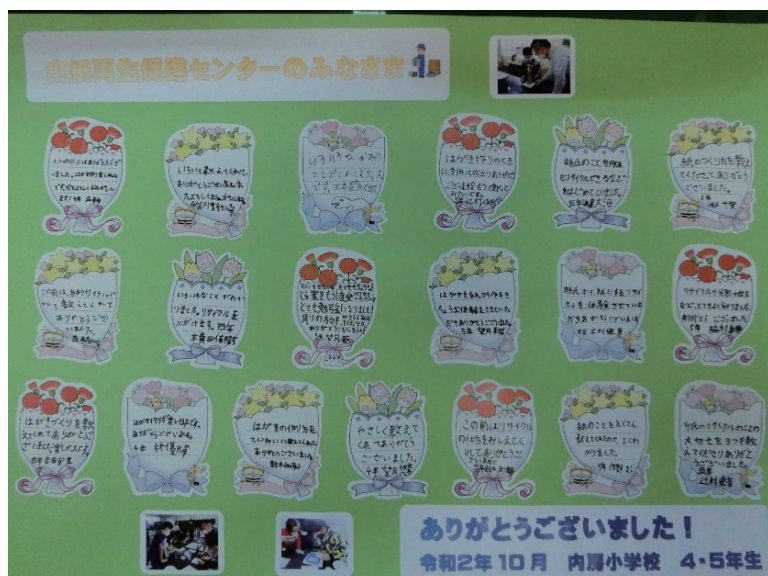
実施日	実施校等	クラス	講師
令和 2 年 10 月 7 日	富士宮市立 西小学校	4 年生 (1 クラス)	(株) アカツキ、(株) 丸元紙業、(株) 高野実業、(株) 二見、(株) 丸興佐野錦一商店、(株) 日刊紙業通信社、 (公財) 古紙再生促進センター
10 月 12 日	富士宮市立 内房小学校	4 年生・ 5 年生 (各 2 クラス)	(株) アカツキ、(株) 丸元紙業、渡辺商店、(株) 二見、 松岡紙業 (株)、(株) 日刊紙業通信社、(公財) 古紙再生 促進センター
10 月 28 日	富士宮市立 井之頭小学校	4 年生 (1 クラス)	(株) アカツキ、(株) 丸元紙業、(公財) 古紙再生促進 センター
11 月 2 日	富士宮市立 芝川中学校	1 年生、 2 年生、 特別支援学級	(株) アカツキ、(株) 二見、(株) 丸元紙業、(株) 日刊 紙業通信社、静岡県製紙原料商業組合、(公財) 古紙再生 促進センター
11 月 13 日	富士市立 吉原小学校	4 年生 (3 クラス)	(株) アカツキ、三和商工 (株)、渡辺商店、(株) 二見、 (株) 市川商店、(株) 丸元紙業、松岡紙業 (株)、特種 東海マテリアルズ (株)、日本製紙 (株)、(株) 日刊紙 業通信社、静岡県製紙原料商業組合、(公財) 古紙再生 促進センター
11 月 20 日	富士市立 東小学校	4 年生 (1 クラス)	松岡紙業 (株)、(株) 高野実業、(株) 二見、(株) 丸興 佐野錦一商店、(株) 丸元紙業、(公財) 古紙再生促進セ ンター
12 月 3 日	富士市立 岩松北小学校	4 年生 (3 クラス)	(株) アカツキ、三和商工 (株)、(株) 丸元紙業、(株) 日刊紙業通信社、静岡県製紙原料商業組合、(公財) 古 紙再生促進センター
12 月 10 日	富士市立 神戸小学校	4 年生 (2 クラス)	(株) 高野実業、(株) 丸元紙業、(株) 日刊紙業通信社、 静岡県製紙原料商業組合、(公財) 古紙再生促進センター
12 月 11 日	富士市立 吉永第二小学校	4 年生 (1 クラス)	(株) アカツキ、渡辺商店、(株) 丸元紙業、(株) 日刊 紙業通信社、静岡県製紙原料商業組合、(公財) 古紙再生 促進センター

【実施校からの感想】

- ・ パワーポイントやテキストを使った講座で、リサイクルの決まりがわかりやすく学べました。
- ・ 古紙から紙を作っている工場の動画を見せていただき、古紙の量や作られる紙の量を目にすることで、分別の重要性に気付くきっかけになりました。
- ・ 手すき体験で、コピー用紙が実際に紙のはがきに生まれ変わったことに驚くとともに、再生できているという実感にもつながりました。
- ・ 講座ではチップやパルプの実物が子供たち一人ひとりの手元に用意されており、触ったりにおいをかいだりと実際の感触を体験でき、理解につながりました。
- ・ 座学の講義だけでなく、使用済みのコピー用紙を用いた手すき体験も併せて実施していただき、子どもたちの理解もより深まる内容でした。
- ・ 少人数や特別支援学級の生徒たちに対しても生徒に合わせて講義を実施していただき、紙リサイクルへの理解が進んだと思います。



いくつかの小中学校からお礼状をいただきました！！



＜中・四国地区委員会＞

中・四国地区は山口県で1件、香川県で1件の合計2件実施しました。

香川県で実施した出前授業では、紙リサイクル出前授業の座学に加えて、工場見学も実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策として2チームに分かれ、マスク着用・消毒の徹底などの対応を行いながら工場での古紙リサイクルの様子について児童に説明しました。

実施日	実施校	クラス	講師
令和2年 10月28日	高松市立高松第一小学校 高松市立高松第一中学校	6年生(1クラス) 7年生(1クラス)	丸八商工(株)
令和3年 2月19日	下松市立豊井小学校	6年生(1クラス)	日本資源流通(株)

【実施校からの感想】

- ・紙リサイクルのテキストや質疑応答を通じて、紙リサイクルの流れについて理解することができた。

＜本部・岐阜市連携事業＞

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は中部地区においては対面による出前授業を実施しないこととさせていただきました。しかし、上半期に引き続き岐阜市内の小中学校において、岐阜市役所の職員が現地に対応できる場合に限り、zoomを活用したオンライン出前授業を実施しました。以下、岐阜市環境部低炭素・資源循環課と古紙再生促進センターのオンラインによる紙リサイクル出前授業の連携事業を報告します。

実施日	実施校等	クラス	講師
令和2年 11月2日	岐阜市立青山中学校	1年生	岐阜市環境部低炭素・資源循環課 (公財)古紙再生促進センター
11月6日	岐阜市立城西小学校	4年生 (2クラス)	岐阜市環境部低炭素・資源循環課 (公財)古紙再生促進センター
11月13日	岐阜市立厚見中学校	1年生	岐阜市環境部低炭素・資源循環課 (公財)古紙再生促進センター
12月22日	岐阜市立青山中学校	1年生	岐阜市環境部低炭素・資源循環課 (公財)古紙再生促進センター

【実施校の感想】

- ・座学だけでなく、手すき体験を通じて紙リサイクルについて体験的に学習を進められるため、生徒たちも意欲的に学習を進めることができた。
- ・説明と体験内容がリンクしているため非常にわかりやすかった。
- ・zoomを活用したオンラインでの実施に対応していただきありがとうございました。

紙リサイクル出前授業の下半期実施結果 (センター会員実施)

紙リサイクル出前授業は、センター各地区委員会が行うものとは別に、会員企業が独自に行っているものもあります。新型コロナウイルス感染症の影響で紙リサイクル出前授業の実施が難しい中、下半期に8件（学校3件、その他5件）の出前授業を実施しましたので、ご紹介します。

実施日	都道府県	実施対象	講師
令和2年 10月22日	岡山県	岡山市大井学区婦人会	明和製紙原料(株)
10月28日	愛知県	名古屋市立しまだ小学校	//
11月19日	福岡県	みやま市環境局	//
11月25日	岡山県	岡山市立福島小学校	//
11月30日	岡山県	岡山市福田公民館	//
令和3年 1月19日	岡山県	岡山市高島学区婦人会	//
2月4日	岐阜県	岐阜県可児市立桜ヶ丘小学校	//
2月28日	岡山県	岡山東法人会こどもエコクラブ	//



月 日	会 議 名	主 要 議 題
1 月 21 日 (木)	近畿地区委員会	新型コロナウイルス感染のリスクを回避するため中止
1 月 22 日 (金)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表 ②古紙需給動向、消費実績、計画について ③ 2021 年 1 月～6 月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ④北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表 ⑤古紙消費量、在庫量推移 ⑥情報交換 ⑦その他 ・令和 3 年度組合古紙共販事業について ・その他
	関東地区委員会	①古紙需給動向（古紙問屋） ②古紙及び製品需給動向（製紙会社） ③古紙品質トラブル報告 ④ 2021 年 1 月～6 月における段ボール、新聞、雑誌の消費計画について ⑤全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020 ・応募結果について ・表彰式について ⑥その他 ・ビデオセミナー 1 月 1 日（金）～31 日（日）当センターホームページにて公開配信中 講演内容：2021 年の世界経済見通し 講師：丸紅株式会社 経済研究所 経済調査チーム長 チーフ・エコノミスト 榎本 裕洋 氏 ・オンラインセミナー 2 月 18 日（木）13：30～14：30 講演内容：（仮）世界的なコンテナ海上荷動き動向 講師：公益財団法人 日本海事センター 企画研究部 研究院 後藤 洋 政氏 ・今後の関東地区委員会等の開催予定
1 月 26 日 (火)	静岡地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②令和 2 年度広報事業について ・紙リサイクル出前授業実施報告 ③令和 3 年度事業計画（案） 広報事業 ・静岡県工業技術研究所フェア参加 ・富士山紙フェア出展 ・紙リサイクル出前授業実施 地区事業 ・委員情報意見交換会 ・講演会 ・委員懇話会 ・委員研修会 ④任期満了に伴う次期（令和 3 年度～4 年度）委員について ⑤その他 ・集団回収感謝状贈呈団体の推薦について ・今後の静岡地区委員会の開催予定
1 月 28 日 (木)	1 月度常任理事会	①通常理事会の開催日時及び議案について ② SDGs（持続可能な開発目標）への取組（報告） ③全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020 の応募結果等について ・表彰式について ④集団回収実施団体への感謝状贈呈について （関東地区委員会、中・四国地区委員会推薦） ⑤コロナ禍における集団回収実施団体への感謝状の贈呈に係る運用について ⑥令和 2 年度第 8 回業務委員会議事次第について ⑦その他 ・今後のスケジュールについて
	第 8 回業務委員会	①各地区の古紙需給・市況動向について ② 2021 年 1 月～6 月における段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020 の応募結果等について ・表彰式について

月 日	会 議 名	主 要 議 題
1 月 28 日 (木)	第 8 回業務委員会	④集団回収実施団体への感謝状贈呈について (関東地区委員会、中・四国地区委員会推薦) ⑤その他 ・ビデオセミナーについて ・Web セミナーについて ・今後の業務委員会等の開催予定
2 月 10 日 (水)	九州地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②九州発生古紙について ③「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020」の応募結果について ④北九州市小学生対象の紙リサイクルバスツアー中止の報告 ⑤令和 2 年度研修会中止の報告 ⑥古紙品質トラブル報告 ⑦ 2 月 18 日開催の web セミナーについて ⑧令和 3 ～ 4 年度九州地区委員の推薦について ⑨令和 3 年度集団回収感謝状贈呈団体の表彰について ⑩令和 3 年度九州地区行事予定
2 月 17 日 (水)	東北地区委員会	①報告事項 ・ 2 月 13 日発生の福島県沖地震の被害状況について ・ 業務委員会報告 ・ その他報告事項 ②古紙の需給・市況動向について ③その他 ・ 次回例会について
	中部地区東海分会	①古紙の需給・市況動向について ②東海地区の今後の会議方法について ③今後の紙リサイクル出前授業について ④その他 ・ 今後の中部地区委員会の開催予定
2 月 19 日 (金)	関東地区委員会	①古紙需給動向（古紙問屋） ②古紙及び製品需給動向（製紙会社） ③古紙品質トラブル報告 ④全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020 ・ 審査結果について ・ 表彰式の中止について ⑤その他 ・ 今後の関東地区委員会等の開催予定
	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②検収委員会報告 ③その他 ・ 今後の近畿地区委員会等の開催予定
2 月 26 日 (金)	2 月度常任理事会	①令和 3 年度事業計画（案）について ②令和 3 年度収支予算（案）について ③令和 3 年度の収支予算における賛助会費の公益目的事業への充当について（案） ④「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020」の審査結果について ⑤令和 2 年度第 9 回業務委員会議事次第について ⑥その他 ・ 今後のスケジュールについて
	第 9 回業務委員会	①各地区の古紙需給・市況動向について ②コロナ禍における集団回収実施団体への感謝状の贈呈に係る運用について ③「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020」の審査結果について ④その他 ・ 今後の業務委員会等の開催予定
3 月 4 日 (木)	第 4 回輸出委員会	①正副委員長の交代について ②正副委員長会議（2 月 9 日開催）結果報告 ③古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ④今後の委員会運営について（案） ⑤その他
3 月 12 日 (金)	九州地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②古紙の品質トラブル報告 ③「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020」の表彰について

月 日	会 議 名	主 要 議 題
3月12日(金)	九州地区委員会	④令和3年度九州地区活動計画について ・令和3～4年度九州地区委員会名簿配付 ・集団回収実施団体表彰の応募について ・今後の地区委員会等の開催予定
3月19日(金)	3月度常任理事会	①通常理事会の事前打ち合わせ ・職務執行状況報告について ②委員会規程に基づく印章取扱規程について ③最近のトピックスについて ・古紙の回収率、利用率の推移 ・古紙の回収量、消費量、輸入量、輸出量の推移 ④令和2年度第10回業務委員会議事次第について ⑤その他 ・今後のスケジュールについて
	第10回業務委員会	①通常理事会の報告について ②各地区の古紙需給・市況動向について ③SDGs（持続可能な開発目標）への取組（報告） ④その他 ・委員への委嘱状について ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2020 受賞作品 作品集 ・今後の業務委員会等の開催予定
	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②検収委員会報告 ③その他 ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
3月24日(水)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表 ②古紙需給動向、消費実績、計画について ③2021年1月～6月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ④北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表 ⑤古紙消費量、在庫量推移 ⑥情報交換 ⑦その他 ・令和3年度集団回収感謝状贈呈について ・令和3年度広報宣伝事業について ・令和3年度リサイクルアドバイザー試験について ・令和3年度組合古紙共販事業について ・その他
3月24日(水)	関東地区委員会	①古紙需給動向（古紙問屋） ②古紙及び製品需給動向（製紙会社） ③古紙品質トラブル報告 ④コロナ禍における集団回収実施団体への感謝状の贈呈に係る運用について ⑤その他 ・委嘱状について ・ウェブセミナー 令和3年4月27日(火) 14:00～15:00 講演内容：(仮) インドネシア経済の現状と今後の見通し 講師：日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部アジア大洋州課 リサーチ・マネージャー 山城 武伸 氏 ・今後の関東地区委員会等の開催予定
3月25日(木)	静岡地区委員会	①古紙の需給・市況動向、品質状況について ・市況動向・品質状況報告 ②令和2年度活動実績報告 ③次期地区委員名簿の確認 ④集団回収感謝状贈呈について ・推薦団体の審議 ・コロナ禍における集団回収実施団体への感謝状の贈呈に係る運用について ⑤全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2020の審査結果について ⑥令和3年度活動計画について ・委員情報意見交換会 ・紙リサイクル出前授業 ⑦その他 ・大型連休期間中の古紙受け入れ計画の調査について ・今後の静岡地区委員会の開催予定

◇編集後記

本号は平成 21 年度にスタートし、今回で 12 回目の開催となる全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020 の審査結果について掲載しました。昨年は新型コロナウイルスの影響で、休校や夏休み期間の短縮といった例年とは大きく異なった環境でのコンテストの実施となりましたが、締め切りを例年より長く設定するなどの対応を行い、応募点数は過去最大の 2,899 点（応募校：208 校）となりました。

受賞作品のうち“紙リサイクル”コンテスト 2020 の最優秀賞・優秀賞に輝いた 9 作品（作文 5 作品・ポスター 4 作品）を掲載しました。どの作品も紙リサイクルに関する独創的なアイデアや紙リサイクルへのメッセージを込めた作品となっていますのでご覧ください。

来年度も応募点数・応募校数の更なる増加に努めて参りますので、お力添えいただけますよう関係者の皆様をお願い申し上げます。（武田）

地区委員会事務局

地 区	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号 F A X 番 号
北 海 道	060-0002	札幌市中央区北二条西 2 丁目 リージェントビル 5 階	011 (271) 1551 011 (232) 0017
東 北	980-6003	仙台市青葉区中央 4 - 6 - 1 住友生命仙台中央ビル 3 階 日本紙パルプ商事（株）北日本支社内	022 (225) 3359 022 (261) 4522
関 東	104-0042	東京都中央区入船 3 丁目 10 番 9 号 新富町ビル 4 階	03 (3537) 6822 03 (3537) 6823
静 岡	417-0801	富士市大淵 2590 番 1 号 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270 0545 (35) 5026
中 部	450-0002	名古屋市市中村区名駅 3 丁目 25 番 9 号 堀内ビル 7 階	052 (582) 1836 052 (581) 6943
近 畿	541-0052	大阪市中央区安土町 1 丁目 7 番 13 号 トヤマビル 7 階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315 06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町 2 番 60 号 大王製紙（株）内	0896 (23) 9124 0896 (23) 4411
九 州	812-0011	福岡市博多区博多駅前 4 丁目 13 番 27 号 グランドハイツ博多 314 号	092 (292) 5381 092 (292) 5382

会報

第 47 巻 第 2 号
2021 年 4 月 16 日

発行所

公益財団法人 古紙再生促進センター

〒104-0042 東京都中央区入船 3 丁目 10 番 9 号
(新富町ビル 4F)

電話 03 (3537) 6822 (代表)

ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 川 上 正 智

印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性®

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。